

COI プログラム「COI 若手連携研究ファンド デジタル分野・FS」の実施について

申請のポイント

1. 若手デジタルについて

- COI 各拠点の「目指すべき将来の姿」（拠点ビジョン）の実現に向け、社会実装に向けた研究開発を加速するうえで、近年発展の著しい「デジタル分野」関連技術との連携、その活用が大変有効であり、政府の掲げる「Society5.0」の実現にも寄与することが期待されます。
- そこで、AI/IoT 等 Society5.0 関連分野（デジタル分野）との連携・活用を特に若手研究者の力によって推進するため、当該分野に特化した新たな支援メニュー【若手デジタル連携研究】を開始します。これは、各 COI 拠点における取り組みとデジタル分野を掛け合わせた連携研究を推進するものです。
- 今回は、【若手デジタル連携研究】の構想・計画を立案していただくための、小規模な調査研究（FS）について申請を受け付けます。
- 次世代を担うプロジェクトメンバーの積極的な申請を期待します。

2. 若手デジタル 提案募集の概要

タイプ	新設 若手デジタル（FS）	新設 若手デジタル連携研究（案）
概要	各拠点の「目指すべき将来の姿」から導出される出口像と AI、IoT 等 Society5.0 関連分野（デジタル分野）を掛け合わせた連携研究への応募に向けた調査を実施。 海外・国内の大学・研究機関・企業など連携候補を調査しデジタル分野の連携研究構想を企画。	各拠点の「目指すべき将来の姿」から導出される出口像と AI、IoT 等 Society5.0 関連分野（デジタル分野）を掛け合わせた連携研究を推進。 デジタル分野での人材育成や社会実装を加速する上で、海外機関（大学・企業等）や国内企業との連携を特に推奨。 原則として、初年度中に、連携候補と調整し連携先を決定（契約等の締結）した上で、翌年度まで研究開発を実施。
提案者	海外機関（大学・企業等）や国内大学・企業等との連携を企画する イ) 若手研究者単独 ロ) 拠点間連携又は拠点外機関連携による若手研究者チーム	海外機関（大学・企業等）や国内大学・企業等との連携を企画する イ) 若手研究者単独 ロ) 拠点間連携又は拠点外機関連携による若手研究者チーム
支援期間	11 月～3 月（H30） <予定>	1 年度～2 年度
資金 （直接経費）	調査研究を構成する 1 課題あたり 100 万円程度	連携研究テーマを構成する 1 課題あたり 400 万円上限／年（予定） （渡航費等は除く） ※国際連携に係る渡航費等については別途配分
支援件数	40 件程度	最低でも 10 件程度は採択可能
募集スケジュール	募集 10 月～ 開始 11 月～	募集 1 月中旬～2 月下旬 <予定> 面接 3 月中 <予定> 開始 4 月～5 月

※若手研究者の対象：若手として 20 代、30 代を中心とした活動を想定していますが、年齢を問わず、次世代を担うプロジェクトメンバーを対象とします。ただし、定年制の教授及び特任教授は対象外とし、定年制の准教授は原則として 39 歳以下（連携研究開始年度 4 月 1 日現在）とします。

※大学等や企業など参加する研究者の所属を問いませんが、COI プログラムとして、企業への研究開発費の配分はありません。

※これまでの若手ファンドについても、引き続き実施します。（12 月中旬募集開始予定）